

2 実生木・常緑樹の選択剪定、選択除草

緑地内では街路樹や庭木由来の園芸植物の実生が増えています。これらは実を食べた鳥などによって持ち込まれるほか、植栽されたり、投棄された培養土から根付いたり、侵入経路はさまざまです。こうした植物が増えると、武蔵台緑地の本来の自然がどのようなものであったかわからなくなってしまいます。そのため、「植生管理ガイドライン」では、極力取り除くことが推奨されています。また、外来種も緑地内で多く見受けられます。これらも在来種と競合するため、選択的に除去します。



マンリョウ



サンカクカタバミ



アメリカオニアザミ 要注意外来生物（外来生物法）



シヨカツサイ オニアザミ



アレチヌスビトハギ



アレチヌスビトハギ



ヨウシュヤマゴボウ



根から掘り取ったヨウシュヤマゴボウ